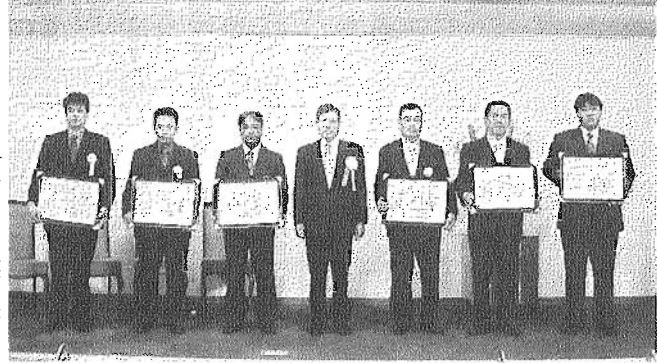


初の県農業農村整備優良工事等表彰

最優秀賞に古賀氏

環境整備部門で小蘭氏

農業農村整備事業
工事等表彰式及び第1回県内研



橋口委員長(中央)と記念写真に納まる優良工事
受賞者=鹿児島市のジェイドガーデンパレスで

15年度県農業農村整備事業優良工事等表彰式は18日、鹿児島市のジェイドガーデンパレスで開き、基盤整備部門最優秀賞の古賀雅彦氏(株)有村建設、農村環境整備部門最優秀賞の小蘭秀作氏(株)小蘭建設)のほか、優秀賞4人の各現場代理人を表彰した。

この表彰制度は、県内農業農村整備の施工技術の向上、請負業者の意欲の高揚を目的に14年度末に創設、今回初めて表彰するもの。県、市町村発注建設工事の前年度に完成した工事を対象に出来栄、施工管理、現場運営、新施工技術の導入、地域住民への配慮等々の選定基準で各耕地事務所

等から優秀工事を推薦、審査委員会が2部門の最優秀賞と優良賞を決めた。農林政部の有元賢隆総括工事監査の講評によると、基盤整備部門最優秀賞の「ふるさと農道緊急整備事業 屋村地区14の2」(株)有村建設施工は、10年近く地元対応に苦勞しながらもきめ細かな施工計画、地元との意見調整、コスト削減等に積極的に取り組んだことが評価された。また、農村環境整備部門最優秀賞の「農業農村整備事業(集落型)フルーツ東郷地区13の4」(株)小蘭建設は、農村の今日的課題である「ゆとりとくろろ空間」を形成する環境整備に努め、現場発注材、間伐材を有効活用すると共に、計画段階から地元の参加によって意見をとり入れた。

基盤整備部門の優秀賞は次の通り(工事名)①現場代理人(株)有村建設 農道緊急整備事業 KAM霧島南部地区14の1 ①井上洋一(ヤマグチ) ②文化財保護に配慮、盛土等に細心の注意を払い、地域高齢農家との協力体制も良好 ③県営海岸保全施設整備事業 菱田地区14の1 ①河路秀治(株)岩切組 ②積極的地元対策で、トラブルなく工事

を細部にわたって施工防護施設を完成 ④県営畑地帯総合整備事業 目手久地区14の1 ①中島一男(株)みのる建設 ②県道に隣接する場所ながら、安全管理の徹底、土砂流失防止も十分、良好な仕上がりとなった ③県営畑地帯総合整備事業 田舎地区14の2 ①稲江一彦(株)元栄建設 ②学校に近いなど



決意新たに写真に納まる新執行部
=鹿屋市のホテルこばやしで

鹿銀の県内景況
公共工事等不振続く
鹿児島銀行はこのほど、最近の県内景況を発表した。総括では「景況は依然低迷が続いている」と報告し、建設関連は「民間工事に大型建築の着工が集中したものの、公共工事・住宅建設は不振が続いている」とまとめた。詳細報告では、公共工事発注(4月)は、まだこれからという段階で、さらに繰越工事の少なさが加わって、受注状況は厳しさが続いている。民間建築(3月)は、西鹿児島駅ターミナルビルを

鹿屋肝属電気設備協同組合(田平一則理事長・山形広之進新理事長)は17日、鹿屋市のホテルこばやしで15年度通常総会を開き、分離分割発注並びに地元

業者優先育成の推進、IT化の促進、労働災害防止や地域奉仕活動実施などを盛り込んだ新年度事業計画等を執行部原案通り可決承認した。任期満了に伴う役員改選は新理事長に山形広之進氏(株)坂元電気工事)を選出。

総会後に、田中貞雄国土交通省大隅河川国道事務所電気通信課長の講話も行われた。田平理事長が「組合の

活用で事務所整備や幅広い陳情活動要請など活発な意見交換が行われ、全体的な景況は「景況は依然低迷が続いている」と報告し、建設関連は「民間工事に大型建築の着工が集中したものの、公共工事・住宅建設は不振が続いている」とまとめた。詳細報告では、公共工事発注(4月)は、まだこれからという段階で、さらに繰越工事の少なさが加わって、受注状況は厳しさが続いている。民間建築(3月)は、西鹿児島駅ターミナルビルを



穿ち初めの儀を行う施工業者代表
=名瀬市伊津部町側坑口前で

「和光トンネル2工区」安全祈願祭が18日、名瀬市の伊津部町側坑口前で開かれ、工事関係者や県、市、市議会などが出席して、工事の無事故での完成を祈った。

祈願祭では鉄入れの儀に続き、植村久(株)植村組代表取締役、町田寛孝(株)町田建設代表取締役、安田泰希(株)安田建設代表取締役

その後関係者らが次々と玉串を捧げ、工事の安全を祈願した。市上地区と中心市街地を結ぶ和光トンネル1工区は、全長1820m(幅員11.5mのうち車

両幅員6.5m)のうち和光町側の1工区1207mの掘削を既に終えている。今回掘削工事に本格着手する伊津部町側の

同町新川に架かる橋梁(37m)工事は3月に完成し現在取り付け道路工事を進めている。トンネル2工区の施工は植村組・町田建設・安田組JVが請け負う。工事請負費は約20億円。概ね15カ月で整備し、和光ルート全体の供用開始は17年度の見通し。

土砂災害防止絵画の表彰式

内村さんに知事最優秀賞

14年度「土砂災害防止月間の土砂災害防止月間行事の一環として、小中学校生を対象に、毎年絵画、ポスター、作文を募集している。小学校6年生(当時5年生)の内村美華さんの表彰式が17日、同校で行われ、前原幸夫栗野土木事務所所長が表彰状を授与した。

土砂災害防止月間の土砂災害防止月間行事の一環として、小中学校生を対象に、毎年絵画、ポスター、作文を募集している。小学校6年生(当時5年生)の内村美華さんの表彰式が17日、同校で行われ、前原幸夫栗野土木事務所所長が表彰状を授与した。